

令和7年度第1回花巻市社会教育委員会 会議録

開催日時 令和7年7月18日（金） 午後2時00分～午後4時15分

開催場所 生涯学園都市会館 3階 第2・3中ホール

出席者 委員出席者13名 菊池豊議長、堀合範子副議長、鈴木恵子氏、福盛田弘氏、川村厚氏、佐藤睦朗氏、和田圭市氏、小国朋身氏、千葉憲一氏、高橋福子氏、菊池清氏、大竹佐久子氏、渡部久美子氏
委員欠席者7名 渡邊康二氏、浅沼由美子氏、黒須修一氏、菊池朋子氏、松葉孝博氏、佐々木さつき氏、高橋典人氏
事務局 6名 生涯学習部 菅野部長
生涯学習課 梅原課長、菊池課長補佐、鈴木生涯学習係長、吉田主査兼社会教育主事、大塚主事
説明者 8名 市民生活総合相談センター 齊藤所長
賢治まちづくり課 大竹課長
スポーツ振興課 奥山課長
花巻図書館 鈴木館長
花巻市総合文化財センター 上野所長
花巻市博物館 村田副館長
教育企画課 及川課長、佐藤総務企画係長

報道機関 岩手日日新聞社

傍聴者 なし

- 次 第 1 開会
2 あいさつ
3 議題
（1）令和8年度の生涯学習・社会教育事業について
（2）新花巻図書館整備について
（3）次期花巻市教育振興基本計画の策定について
（4）その他
4 その他
5 閉会

1 開会 （開会 午後2時00分）

事務局（菊池生涯 皆様お忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございます。
学習課長補佐） 開会に先立ちまして、本会議の成立についてご報告いたします。
本日、欠席の報告をいただいております委員ですが、名簿順で

申し上げますと、2番の渡邊委員、5番の浅沼委員、7番の黒須委員、9番の菊池委員、11番の松葉委員、17番の佐々木委員、19番の高橋委員の7名です。花巻市社会教育委員会会議運営規則第7条の規定によりまして、本会議は委員の半数以上の出席により成立いたしますが、現在20名のうち12名の方にご出席をいただいておりますことから、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。

なお、今年度新しく社会教育委員をお引き受けいただきました委員の皆様のお手元には、委嘱状を配置してございます。本来であれば、お一人お一人にお渡しするところではございますが、机への配置にて交付に代えさせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

続きまして、資料の確認をいたします。

事前にお渡ししております資料のほか、本日配布した資料となります。

まず、最初に次第と名簿です。

続きまして、資料1と右上に書かれておりますA3横長の『第3期花巻市教育振興基本計画／「3生涯学習の推進」／主な事業の実施状況』と書かれたもの。次に、資料2です。A4横長の『新花巻図書館整備について』というもの。それから、A4縦長の『第4期花巻市教育振興基本計画の策定について』というものが1つです。

ここからは、委員の皆様のみ配布してございます資料です。

続きになりますが、『配布書類について』というものが1つです。

次に、『一般社団法人全国社会教育委員連合ニュースレター No. 29』、続いて、『全国社会教育委員連合機関誌「社教情報第93号」』の案内です。そして、『令和7年度生涯学習事業計画』、A3横長のものとA4横長のものになります。

続きまして、『資料の提供方法について』というA5版の用紙が付いております。

最後に、『第67回全国社会教育研究大会岩手大会の開催について（ご案内）』というものを添付してございます。

以上、お揃いでしょうか。不足しておりましたら、お申し出いただければと思います。

それでは、ただいまから令和7年度第1回花巻市社会教育委員会会議を開会いたします。

開会にあたりまして、菊池議長からごあいさつをいただきたいと存じます。菊池議長よろしく願いいたします。

2 あいさつ
菊池豊議長

はい、今年度第1回目の会議となります。今年度の具体の事業

計画、そして来年度の事業計画に向けてという議題が出ております。

このあたりを中心に、今回ご意見をいただければと思います。どうぞ、遠慮なさらず皆さんご発言をいただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

ありがとうございます。

続きまして、委員の皆様のご紹介でございます。

お手元の名簿をご覧いただきたいと思います。大変恐縮でございますが、新しい委員の皆様にもご出席いただいておりますので、名簿順にお名前・所属など簡単に自己紹介をお願いできればと思います。（委員紹介→説明職員、事務局紹介）

3 議題

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

それでは、議題のほうに移りたいと思いますが、議事に入らせていただく前に、ここからの進行につきましては議長、副議長にお願いしたいと存じます。

はじめに、会議の公開基準に基づき、この会議の公開・非公開について確認をさせていただいた後に、議事進行をお願いいたします。菊池議長よろしくお願いいたします。

菊池豊議長

それでは、今回の会議の公開について確認を行います。「花巻市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、本会議を公開することによってよろしいでしょうか。

（異議なし）

それでは、さっそく議事に入っていきたいと思います。

まず、1番目に令和8年度の生涯学習・社会教育事業について審議をお願いしたいと思います。これから説明いただく資料等については、既に昨年度3月の会議で今年度の事業計画について説明を受けておりますことから、今回の議事の進め方としては、令和7年度事業計画について、前回会議での説明からの修正点や新たに追加された事項を中心に説明いただきながら進めたいと思います。

はじめに社会教育に関する事業に関わるところを、私が進行いたします。その後のスポーツの振興以降については、堀合副議長が進行するということをお願いしたいと思います。

それでは、最初に資料1に関わって生涯学習の推進について社会教育に関する事業の説明をお願いいたします。

事務局（梅原生涯
学習課長）

それでは、資料1に基づき花巻市教育振興基本計画「3生涯学習の推進」／主な事業の実施状況について、6年度の主な事業報告と7年度の主な事業計画を合わせて事業ごとにご説明いたします。

最初に、生涯学習の推進の社会教育に関する事業、「1. 自主的

活動の推進」の①生涯学習講座開催事業についてでございますが、この事業は、より多くの方に関心を持っていただいて、生涯学習のきっかけとなるよう、講座内容について市のホームページやまなび学園内で写真などを交えて報告し、情報発信の強化に努めております。このまなび学園での掲示は、昨年度から始めたものでございます。

そのほか、オンラインを活用して、アーカイブ配信や、講座後に受講者向けに作業工程の解説動画を公開するなど、多様なライフスタイルに合った学習機会の提供を目指しておりますが、情報発信については、前回3月の社会教育委員会議でご意見をいただきました「広報はなまき」へ生涯学習講座開設に関するお知らせを、2分の1ページという少ないページではございましたが、4月15日号で掲載したところであります。今年度も引き続き、市民の生涯学習のきっかけづくりとなる場や学習機会を提供するため、生涯学習講座の充実を図りまして、これまでの参集型に加えてオンラインを活用した講座も実施し、多様化する市民ニーズに合った学習機会を提供したいと考えております。

次に、②生涯学習活動支援事業でございます。

6年度のふれあい出前講座については、開催回数、受講者数とも前年度より増加しておりまして、市民の主体的な学習活動の促進につながったと考えておりますが、3月の社会教育委員会議でもご意見がございました「利用者のニーズに合わせて、生涯学習講師のコーディネートを行う」ということについては、両者がスムーズにコミュニケーションを取れるよう支援に努めていきたいと思っております。そして、出前講座の活用に関する情報発信もより進めていきたいと考えております。

そのほか、生涯学習フェア（まなび学園祭）も皆さんの自主的な生涯学習活動を支援し、活動の成果を発表する場として実施しまして、たくさんの方に見ていただいて、そして、見ていただいた方々にご自分の生涯学習のきっかけとしていただけるよう7年度も取り組んでいきたいと思っております。

また、懸案の生涯学習講師の謝礼金額につきましては、今年度より6,000円に増額いたしましたが、引き続き検討が必要な額だと考えておりますので、生涯学習講師を対象としたスキルアップに関する研修とあわせまして、今後も検討してまいりたいと考えております。

鈴木花巻図書館長

それでは、③視聴覚教育推進事業、花巻図書館で行っている事業です。

まず、視聴覚教育ライブラリーでございます。団体で生涯学習活動を行う団体に対して視聴覚教材の貸出、それから機材の貸出

を行っている事業でございます。昨年度は資料にありますように、教材及び機材を使って上映いただいた回数が 239 回、ご覧いただいた方は 5,723 人となっております。コロナ前に比較してだいぶ戻ってきてはおりますが、まだコロナ前の状況までは戻っておりません。

それから、今年度はさらにライブラリーの情報を発信していくために、A4 両面 1 枚の印刷ものですが、様々な視聴覚教材の情報やイベントの情報を載せた「ライブラリーだより」を年間 2 回発行するというので、既に 1 回発行してございますが、そういった取り組みを新たに加えて、視聴覚教材を周知してこうと行っております。

続きまして、16 ミリ映写機操作技術講習会の開催、これは毎年やっております。県の視聴覚教育連盟の方に講師に来ていただいて、講習を行っております。映写機の取り扱い方、今年度は既に 6 月に開催いたしまして、4 名の方が受講されております。

それから、映画会の開催でございます。夏休みと冬休みに「こども映画会」ということで、市内 4 館、各図書館のエリアを巡回して映画会を開催しております。そのほかにも花巻図書館、大迫図書館、石鳥谷図書館、東和図書館それぞれでの上映会も開催しております。

また、図書館の VHS 資料、主に宮沢賢治関連や郷土芸能にまつわる資料になりますが、それらがこのままだと劣化により閲覧できなくなる恐れがあるというところで、DVD へ変換をしていきたいと考えておりまして、こういったものが対象になるのか、それに対して使用許諾が得られるのかというところを調査して、少しでも未来に残していけるようにという取り組みをはじめております。以上です。

事務局（梅原生涯
学習課長）

次は、④生涯学習施設整備事業でございます。

令和 7 年度は大迫の中乙生活改善センターの耐震改修工事や古川地区集落センターの耐震改修工事の実施設計を行う予定としております。

市民の家については、6 年度から引き続きまして、文化財登録をして保存活用する方法を専門家に相談しながら検討しているところでございます。

鈴木花巻図書館長

続きまして、⑤読書活動推進事業でございます。

ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業の実施、こちらにございますとおり 5 か月児健診、それから 1 歳 6 か月児健診の際に絵本のプレゼントを保健センターで行っております。子どもの数が減ってきておりますので、配布する数も減ってきてはおりますけれども、ほぼ 100%の方に本を受け取

っていただいて、その方々に「図書館にもどうぞお越しください」とつなげることができていると思っております。

それから、おはなし会の開催でございます。

図書館の中でお話を聞くおはなし会は、それぞれの図書館で行っており、花巻図書館では40回、大迫図書館では22回とございますとおり、4館それぞれでおはなし会を開催しております。館によってそれぞれですが、例えば花巻図書館ですと0歳から2歳まで、3・4歳、それから5歳以上というような形で年齢に応じた内容を考えながらおはなし会を開催しております。

「みんなでライブラリー」の開催、これは4館合同で行っているイベントでございますが、今年度第1回目についてはご存知かと思いますが、本屋大賞を受賞された花巻市出身の阿部暁子さんのトークイベントを8月30日文化会館で開催することで準備を進めております。既に、締め切らせていただいておりますが、最初は200人程度の定員で想定していたところ、あっという間に定員を超える皆様にお申し込みいただきました。当初、抽選ということで考えていたのですが、たくさんの皆様にお申し込みいただきましたので、会場を大ホールへ変更しました。さらに、阿部さんへの質問をいただいて、当日会場でお答えするということも考えております。

第2回目は、「皆さんのおすすめの本を教えてください」ということで、既に各図書館でポスター掲示をしておりますが、利用者の方々の好きな本を書いていただいて、みんなで共有してほかの方々にもおすすめしましょうというイベントを行います。既に始まっておりますが、12月にそれを貼り出して発表するという予定になっております。

それから、読書活動推進スキルアップ講座の開催です。これも昨年度開催しておりますが、今年度は、図書修繕、それからおはなし会の運営の方法といった内容で、3回の開催を予定しております。

次に、読書おもいで帳の発行でございます。中学生以下を対象としていたおもいで帳を、昨年度4月から高校生以上、大人も対象と変更いたしました。こちらの資料にあります1,368人のうち、中学生以下が896人、高校生以上の方々が472人。対象を広げたことで、新たに472人の方にご利用いただいております。中学生以下の人数はあまり変わっておりませんが、大人の方々に利用していただけるようになったことで、さらに図書館に足を運ぶ機会を増やしていただくことができたのではないかと考えております。

事務局（梅原生涯

次は⑥図書館整備事業でございます。令和6年度については、

学習課長)

資料にありますとおり図書館の整備基本計画試案検討会議を開催したほか、新図書館の建設候補地比較調査の実施や、建設候補地の選定の判断材料とするため、対話による市民会議を開催いたしました。この市民会議での意見等をふまえ、市では新図書館建設場所として花巻駅前を選択いたしまして、新花巻図書館整備基本計画案をまとめて、令和7年度に入ってから4月でございますが、市民参画手続きである市民説明会とパブリックコメント、図書館協議会での意見聴取を行いまして、いただいたご意見などで反映できるものは反映した計画案が5月19日に開催された教育委員会議定例会にて議決され、基本計画が策定となりました。

この基本計画に基づきまして、6月に開催された市議会でも新図書館設計業務の基礎データとするための用地などの測量業務、国の「都市構造再編集集中支援事業補助金」、建設にあたってはこちらの補助金を活用したいと考えておりますが、補助金の活用に必要な「都市再生整備計画」を策定するための業務委託費等の補正予算、また、設計業務に係る債務負担補正を承認いただき、それぞれの事務を現在進めております。こちらにつきましてはこの後、お時間いただきまして詳しく説明したいと考えております。

鈴木花巻図書館長

続きまして、⑦図書館改修事業でございます。

こちら、まず1つ目が東和図書館北側トイレ改修です。令和5年度、6年度にかけて繰越で行った事業ですが、東和図書館は管理棟と図書館棟からなる建物です。元々あった管理棟側のトイレから臭いがして、老朽化してきたということで改修を行いました。令和5年度、6年度にかけて繰越として行い、無事終了しております。洋式化、バリアフリーということで幅を広くとって、車椅子でも使いやすいようになっています。

それから、花巻図書館の改修でございます。花巻図書館は昭和48年に開館しておりますが、その際、建築後の確認がされていなかったということが分かりました。車庫の増築、3階にあります本来使用してはいけない屋根裏部分の部屋としての使用などがわかりまして、それらを使用できないようにする、増築部分ごと取り壊すということを行いまして、建築基準法的に問題のない施設にする改修を行ったものです。当初令和5年度に行う予定でしたが事業者が決まらず、6年度にもう一度入札を行ったものです。7年度に関しては改修事業はございません。

事務局（梅原生涯学習課長）

続きまして、ページをめくっていただき4ページ目になります。

「2. 青少年健全育成の推進」、青少年活動推進事業です。令和7年度も資料にありますとおり事業を進めてまいります。20歳のつどいの実行委員会活動については、昨年度委員募集の開始時期の見直しなど、持続的に実行委員会が活動を続けていくための

改善に関するご意見をいただいております、例年よりも活動開始時期を早めており、既に何人かの委員が活動を始めているところであります。

齊藤市民生活総合
相談センター所長

生涯学習に関連する事業というところ、「2. 青少年健全育成の推進」、青少年の非行防止という中身になりますが①少年センター運営事業でございます。基本的には街頭での補導活動、これが主な事業内容となりますが、令和6年度は83人36班集体で、のべ315回活動、660人が従事したというところでございます。

令和7年度については、同様に街頭活動の継続をしていくというところでございます。主な活動としましては、少年補導委員による街頭補導活動、それから警察署員との巡回活動でございます。そのほか環境点検活動といたしまして、不健全図書の販売状況等、自動販売機設置状況の調査がございます。

また、そのほか関係機関、警察署等と連携をとりながら、補導員の資質向上等に努めてまいります。

事務局（梅原生涯
学習課長）

続きまして、「3. 国際化の推進」の①国際都市推進事業でございます。令和7年度事業については、資料のとおりでございます。引き続き、国際フェアや語学講座、生活講座などの事業を実施しまして、市民の皆さんの国際理解や多文化共生の理解を進めていきたいと思っております。

この多文化共生の理解に関しましては、多文化共生プランに関するものとあわせて令和5年度に新規開設したふれあい出前講座へ6年度1件3月に実績がございました。PRしてもっと進めていけたらと思っております。

また、外国人市民の多国籍化も進んでおりますので、地域で共に暮らしていくために、多国籍の言語を全て網羅するのはなかなか難しいので、「やさしい日本語」の研修等もできないか検討しているところです。

次のページになります、5ページ目でございます。

②国際姉妹都市等交流推進事業でございますが、中高生の海外派遣受け入れ事業に関しましては、令和7年度も既にホットスプリングス市、クリントン村、ラットランド市、この三つの地域の中高生を受け入れしております。引き続きベルンドルフ市からもいらっしゃる予定ですので、交流事業を進めていきたいと思っております。今年は、ベルンドルフ市との姉妹都市提携60周年の記念の年でございますので、10月には市民ツアーを実施いたしまして、市の公式訪問団や中学生の派遣生とともに、市民の方にもベルンドルフ市で開催される記念式典にご参加いただき、皆さんと交流いただく予定にしております。

続きまして、③国内友好都市等交流推進事業でございます。

こちらは、友好都市の平塚市と十和田市、この二市との交流を推進する事業でございますが、令和6年度は十和田市とは35周年、平塚市とは40周年の記念の年でございますので、それぞれ記念式典や市民ツアーなどを実施いたしました。今年度は周年事業はございませんけれども、例年開催している国内友好都市の小学生を対象とした自然体験交流事業や、花巻から平塚市、十和田市それぞれに訪れるという市民ツアーは継続実施いたしまして、友好都市との交流を推進していきたいと考えております。「3. 国際化の推進」につきましては以上となります。

菊池豊議長

それでは、今までの5ページまでのところ、一括して生涯学習に関する事業までで、質問やご意見がございましたら、あるいは8年度に向けたご意見等がございましたらお願いいたします。

福盛田委員

鈴木図書館長に伺います。16ミリ映写機の操作講習に関連して、昨年度、花巻図書館で機材を貸し出ししていると思うのですが、何回位利用されているのですか。そして、図書館で行っている映画会などで新しい16ミリの資料は使われているのでしょうか。利用について伺いたいと思います。

鈴木花巻図書館長

花巻図書館の鈴木でございます。1つずつ確認しながらお答えさせていただきます。

まず、16ミリ映写機の貸し出しがあるかというお話でしたが、昨年は4回映写機の貸し出しがございました。ただ、視聴覚ライブラリーのものを花巻図書館が使用する場合にも貸し出しとカウントしておりまして、花巻図書館への貸し出しという形をとった回が1回ございましたので、図書館以外の方々に貸し出したのは3回ございました。

それから、16ミリの資料を貸し出した本数ですが、昨年は15本の16ミリの資料の貸し出しをしております。新たな16ミリの資料はあるかというお話だったかと思いますが、新しく（揃えた）16ミリの資料はございません。16ミリの資料、それからVHSも新しく買うということもございません。基本的には、もうDVDのみの購入でございます。

福盛田委員

ありがとうございます。

菊池豊議長

よろしいですか。高橋委員。

高橋委員

令和5年度の報告とあわせて読ませていただくと、イーハトーブ花巻カレッジや富士大学花巻市民セミナーの参加人数も増えてきている。先の（社会教育委員）会議のときに出した「そういった生涯学習の事業を、もう少し広報等で周知してはいかがでしょうか。」という意見に対してすぐに広報に掲載していただいたりして、イーハトーブ花巻カレッジも富士大学花巻市民セミナーも夜開催ですけれども、企画の内容が今の時代にあったテーマの講座

だったので、夜でもこのように人が来たのだと思う。やはり、企画してくださった方々が、今の社会課題とあったような内容の講座にしてくださったのだと思って、ありがたいと思っています。今年度もそのように進めていただけると、もっと関心を持ってくださる人が増えるのではないかと思います。ただの感想ですみません。

あと、図書館のほうにちょっとお願いなのですが、以前伺ったときに「ブックスタート事業の図書選定に特別な基準は持っておりません。」とおっしゃられたのですが、今の時代ですとジェンダーの視点、フラットな図書を子どもの頃から見てもらうということもすごく大事ではないかと思っています。初めて出会うものにジェンダーのバイアスが少しでも関わっていると、そういったふうに子どもたちは受け取ってしまうので、図書選定のときにそういった視点を持っていただくとありがたいかなと思います。よろしくお願いします。

鈴木花巻図書館長

はい、ありがとうございます。保健センターの職員や読み聞かせボランティア、図書館職員も一緒にどの本をプレゼントするかという話し合いをしておりますので、このようなご意見をいただいたことを伝えていきたいと思います。ありがとうございます。

菊池豊議長
高橋委員
菊池豊議長
千葉委員

来年度もこのような事業を継続してほしいということですね。

はい。

では、ほかに。

生涯学習推進センターの千葉でございます。本当に素晴らしい事業を重層的に、いろいろなことをなさっていて素晴らしいと思っております。

何点か挙げさせていただきますが、富士大学花巻市民セミナーとイーハトーブ花巻カレッジですね、県内市町村で大学と連携しながら講座をしているところは半分あるかないかです。取り組みの中身として、多様なニーズばかり追うと、社会的な課題に対して学びを深めていくというところがちょっと足りなくなるわけですね。そうではなくて、大学の先生をお呼びして大学での学問、現代の課題について学ぶという機会に何十人の方が参加している、これはものすごく価値のあることだと思います。まさに、社会教育事業そのものだと思いますので、こういうことを続けていくべきだと思います。私も勉強になります、ありがとうございます。

もう2点ほど、お話したいのですけれども。学んだことの循環という意味でちょっと感じたのですけれども、4ページの青少年活動推進事業ですね。これで高校生ボランティアを募って、小学生の面倒をみたりする、これがすごく大事だと思うのですね。子どもたちを見ていて感じるのは、やっぱり生きる実感というか、

自己肯定感が低いとよく言われるのですけれども、こういう身近なところから、おそらく高校生は感謝されるのではないのでしょうか。こういう事業で、高校生は自信を持つと思うのですよ。そのようなことを事業でできているということも、素晴らしいと思っております。ですから、このような取り組みをもっとできれば、素晴らしいなと思いました。

1点質問なのですが、1ページ目の家庭教育支援講座がありますよね。3回開催、のべ受講者数93人。この受講が終わった方というのは、何か活躍する場があるのか。図書館で実施しているブックスタート事業、これは参加者が多くて図書館だけでは厳しいのだらうなと思っているのですよね。何を言いたいかというと、学んだ結果、それを何かの事業に活かすということがあればよりいいのかなと思います。例えば、高齢者学級において受講者がまなび学園で194回、受講者数がのべ2,626人。この方々が、様々な学んだことを例えば小中学校や高校で、何かお世話する係へまわるということが、私は理想だと思っております。ですので、ちょっとお聞きしたいのですが、家庭教育支援講座を受講された方、受講を修了された方は活躍されているのかお聞きしたいです。

事務局（梅原生涯
学習課長）

いろいろな講座を見ていただきありがとうございます。

家庭教育支援講座は今のところ、足育や、昨年実施したものですと布袋にお子さんの手形や足型を押してデザインするというワークショップといったような、ご自分の家庭向けのものをやっております。また、先日は高橋委員に講師をしていただきまして防災のお話を親子で聞いていただくなど、ご自分の家庭で参考にさせていただくといったような内容にしておりますので、学んだことを身近な誰かに教える、伝えるということはあると思いますが、図書館などで講座を開けるような仕組みは、まだつくっていないところでございます。（現時点では）ご家庭で取り入れてほしいという内容で、進めております。

菊池豊議長
千葉委員

よろしいですか。

では、図書館で実施されているブックスタート事業には、市民の方が何かお手伝いをする場面というのはあるのでしょうか。

鈴木花巻図書館長

はい。ブックスタート事業にはボランティアの方々の力を借りております。

職員と一緒に図書館ボランティアの方々が一緒に保健センターに行って、子どもたちの検診の合間に、絵本を読んだり、図書館の紹介をしたりということをして、一緒にやっていただいておりますので、そこからさらに子どもたちやお母さんへ何かということはありませんけれども、ボランティアさんのご協力をいただき、始めたときからずっとそのようなやり方でやってきております。

菊池豊議長

今、学校との連携、ボランティア活動を通してということがありましたけども。学校との連携というところは、どちらかの事業に入っていますか。このボランティアは、一般へ募集している、特に高等学校に対して「このようなボランティアがあるので、ご協力を」という働きかけはしているのでしょうか。

事務局（梅原生涯学習課長）

働きかけはしております。先ほどお話いただいたのは「はなまき！おもしろ探検隊」という事業ですが、小学生の隊員のお世話を高校生のボランティアの皆さんがしてくださるというもので、事業がはじまるときに市内の高校へ「こういった事業があるので、ボランティアとして参加しませんか」と生徒さんへの周知をお願いしております。7年度は、本当に大勢の高校生の皆さんに手を挙げていただきまして、ボランティア研修を経て、子どもたちと一緒に活動いただいておりますけれども、みなさん明るいし、すごく積極的だし、子どもたちも歳が近いお兄さん、お姉さんたちにいろいろお手伝いしてもらおうとすごく力が伸びますので、とても助かっています。今、「はなまき！おもしろ探検隊」で高校生ボランティアを体験してから、20歳のつどいで自分たちが実行委員になって事業を作り上げるという、そこまでの流れはできていますけれども、そこから先（の誘導）はどうしようかということがあります。それを循環させるには、どうすればいいのかということを考えているところです。

菊池豊議長

高校生ボランティアについては、全体をとおした登録制？

事務局（梅原生涯学習課長）

いえ、登録制ではなく事業ごとになっています。

菊池豊議長

登録しながら、次の年もまた（ボランティア）を増やしていくということも。生徒もそうですし、子どもたちも本当に喜んでやりますよ、お兄さん、お姉さんたちがいて。

では、ほかには。

大竹委員

大竹と申します。

4ページの「2. 青少年健全育成の推進」（1）健全育成活動の推進というところで、花巻市青少年育成市民会議に私も参加しているのですが、今年も市内小学生21人が参加して、リーダー研修のようなことをするという体験をしました。その指導者として高校生のボランティアを募集して、17人のボランティアが応募してきました。その前日、1週間ぐらい前にボランティア、指導者としてのリーダーシップを学ぶということでサマーキャンプをするわけですが、サマーキャンプはすべて高校生が主になって、小学生を指導するという方法をとっております。

何を言いたいかというと、すべてボランティアでやっているわけなのです。たしかに、青少年育成市民会議のメンバーも協力は

しますが、あくまでも援助という形で見守っているわけなのですが、非常に素晴らしい結果を出します。

ただ、問題なのは資料に補助金とあります。支援事業、支援の金額として少し少ないのではないかと。もう少し、少年少女の育成に関して、予算を取っていただいてもいいのではと思うほど、結果が素晴らしいものになっておりますので、ぜひこの場をお借りしてお願いしたいと思います。

事務局（菅野生涯
学習部長）

今、予算のことは言えないのですが、私も総会とかに出席させていただいて活動の内容は存じておりますので、お力になれるように検討はしたいと思います。

菊池豊議長

期待は持てますでしょうか。

事務局（菅野生涯
学習部長）

どの程度、どういったことに必要だとかということもお聞きしないと、予算ですのでここで大丈夫ですというわけにはいきませんので、そこはご理解いただければと思います。

菊池豊議長

あと、（はなまき！おもしろ探検隊の）高校生ボランティア研修もやっているわけですね。研修して、実際の子どもたちとの活動にうつっていくという。どうでしょう。

事務局（梅原生涯
学習課長）

「はなまき！おもしろ探検隊」もキャンプがありますので、青少年育成市民会議と同じように高校生がキャンプ研修を行ったうえで、本番のキャンプに臨んでおります。

菊池豊議長

そうですね、それでないとうまくいかないですね。ほかに。

菊池清委員

菊池と申します。4ページの「3. 国際化の推進」というところで、講座等の開催というものがあって、各国の外国人の方にいろいろな講座をしているようなのですが、私はいつも思うのですが、私はいつも思うのですが、若い方の参加というのは、ここではどのようになっているのかと思います。

今、高校生のお話がいろいろありましたけれども、やっぱり高校とか中学の頃から、そういうものに触れておくと非常に良いのではないかと思います。

私は、盛岡でこのようなサークルに入っているのですが、そうすると語学を教える人がいて、その人がいろいろなところで働いているということも目にしますし、そのようなところに若い人が行くと語学もいろいろと学べます。それから、他国のいろいろな文化を教えるというので、やっぱり若い人の参加をこのようなところに求めてもいいのではいつも思っているのですが、そのあたりはいかがでしょうか。

事務局（梅原生涯
学習課長）

すみません、今、参加者の世代別データを持ち合わせておりませんので、正確な数値はお話できないのですが、中高生（の参加）は多くないと思っておりますので、周知していかなければいけないと思います。

生活講座については、技能実習生の方とその地域に住む方が一緒にゴミの出し方や防災といった講座に参加していただいておりますが、花巻に来ている（技能実習生の）方は若い方が多いので、若い方にも参加いただいております。

ただ、多文化共生サロンや、中国語や英語などの語学講座に参加している方は、中堅の方が多く思っておりますので、より若年層が参加しやすい時間や曜日というのは考えていかなければならないと思います。講座等については国際交流協会が主催しますので、情報を共有しながら一緒に考えていきたいと思っています。

菊池豊議長

はい、このような事業はこれから大事になってくると思いますね。最近、見ていても、外国人に対する偏見や差別、そういうようなことがすごく主張されるようになってきていますから、こういう事業をぜひ展開していただければと思います。若い子どもたち、青年たちが参加するように。もう“内なる国際化”ですから、街を歩いていてもいろいろな外国の方がいらっしゃいますので。

事務局（梅原生涯学習課長）

そういった意味では、多文化共生の（ふれあい）出前講座とは別に、小学校への出前授業を行っておりまして、去年は小学校2校を訪れております。学校を対象に多文化共生の出前授業として始めておりますので、そういったところも力を入れていきたいと思っています。

菊池豊議長

名称もどんどん変わってきたのですよね、異文化理解という言葉から多文化共生へ。差別につながるような言葉は使わないようにして。大事な活動だと思います。

小学校はいかがでしょうか。多文化共生という視点から。

鈴木恵子委員

先ほど、生涯学習推進センターの千葉委員から、学んだことを何かに活かす機会があればというお言葉をいただきました。今年度、本校笹間第一小学校のことなのですが、ホットスプリング市の生徒さん方に来ていただいて、国際交流の機会をいただきました。今、小学校では小学校3年生から外国語活動ということをして学習しております。ただ、やはり身近に直接学んだことを活かす方というのがいないので、せっかくあいさつの言葉を覚えても、それを活かす、話をしてみるという機会がちょっとなかったので、今回ホットスプリング市の方々に来ていただいたことで、子どもたちは学習したことを使って実際に話をしてみるという、すごく貴重な機会をいただきました。年に1回あるいは2回の機会なのですが、この国際交流というところをすごくありがたいなというふうに感じておりました。

菊池豊議長

ありがとうございます。もう、すでに生涯学習に関する事業のところに入っていますので、それもあわせてご意見いただければと思います。ほかよろしいでしょうか。

それでは、ご意見がなければ生涯学習の推進についてはこれで終わりたいと思います。

堀合副議長

はい、それではスポーツの振興のところに入りたいと思いますが、ここは2ページだけですので次の芸術文化の振興についても、説明をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

奥山スポーツ振興
課長

それでは、スポーツの振興について前回からの修正部分を中心に説明をさせていただきます。資料は、両面1枚のものです。

令和7年度の事業計画につきましては、令和6年度と同様、「1. 生涯スポーツの推進」、「2. 競技スポーツの推進」、「3. 大規模スポーツ大会の開催」という3つの施策により進めてまいります。

1つ目の生涯スポーツの推進のうち、①地域スポーツ推進事業につきましては、各地域における生涯スポーツの推進を図るためにスポーツ推進委員などを配置しまして、その活動を支援するということと、市民がスポーツに親しむ機会を提供するということを目的に実施している事業となっております。この中で、3月の時点では未定となっております早起きマラソン50周年記念事業につきましては、本年5月に記念事業の実行委員会を設立しまして、現在は記念事業の詳細について検討しているところでありますが、11月末に記念式典の開催、表彰、記念誌の作成などを予定しているところでございます。

続きまして、②地域スポーツ支援事業につきましては、各地域における生涯スポーツの推進活動の支援ということで、スポーツ団体等に対して助成を行っているものです。前回の説明から大きな変更はございませんが、各地区の体育協会の名称が今年度より、それぞれスポーツ協会に変更されております。

続きまして、次に2つ目になりますが、競技スポーツの推進の①競技スポーツ支援事業については、競技レベルの向上と指導レベルの向上を図るため、大会出場者への支援、あるいはスポーツ大会の開催支援を目的に実施している事業となっております。令和7年度においても、全国大会の出場支援、県民大会出場支援、各種スポーツ大会の開催支援を行ってまいります。なお、本年4月27日に開催いたしましたイーハトーブ花巻ハーフマラソンでは、昨年度より500名以上多い約3,000名に参加をいただくことができました。

続きまして、裏面のほうになりますが、3つ目の大規模スポーツ大会の開催についてご覧いただきたいと思います。

このうち、①スポーツ大会・合宿誘致推進事業につきましては、交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供するためにスポーツ大会、あるいはスポーツ合宿の誘致を図ることを目的に実施している事業となっております。スポーツコンベンションビ

ューローが主体となりまして、合宿誘致に努めているところでございまして、令和7年度は田瀬湖におけるローイング、いわゆるボートですね。ローイングの日本代表合宿をはじめ、大学の野球部の合宿が東京経済大学と高千穂大学の2件、それから国土館大学の剣道部の合計4件を予定しております。

続きまして、真ん中④と書いてありますが、スポーツ施設環境整備事業につきましては、スポーツ施設の快適な利用環境を整えるということで、計画的に施設の整備・改修を行っているものでございます。花巻市は、非常に多くのスポーツ施設を有しております。整備をしてもなかなか追いつかないという状況ではございますが、限られた予算の中ではありますが、令和7年度も順次資料記載のとおり工事等を進めてまいります。なお、追記させていただきました石鳥谷ふれあい運動公園のトイレ改修工事につきましては、令和6年度からの繰越ということで本年8月までに工事を終える予定となっております。

最後に、一番下の段、女子野球タウン推進事業につきましては、令和7年度からの事業であります。令和6年11月30日に全日本女子野球連盟から認定をいただきまして、全国では18番目、東北では初ということで認定をいただいております。主な事業計画といたしましては、女子野球大会の開催の支援、こちら11月に予定されております。あるいは認定ロゴの活用ということで、職員の名刺などに入れさせていただいておりますし、女子野球選手のプレー環境の向上等を予定しておりますが、飲料メーカーによる認定の同意を得た自動販売機を今年度に入ってから市内3か所に設置をいただいております。

そのほか、花巻球場には女子野球選手専用のトイレがないという状況でしたので、今年度におきまして、整備のための実施設計を行いまして、さらに実施時期を早めるため今年の6月議会において補正予算の承認をいただきましたので、今年度内に工事を行う予定で進めております。以上です。

堀合副議長

では、芸術文化の振興も続けてということでしたので、お願いいたします。

事務局（梅原生涯学習課長）

では、続きまして、芸術文化の振興でございます。「1. 芸術文化活動の推進」の①芸術文化推進事業についてですけれども、6年度市民芸術祭で花巻地区の展示部門に合わせ大ホールで初めてチャレンジライブを行いまして、それがとても好評でしたので、7年度も引き続き市民芸術祭で行っていきたいと考えていますし、小学生のためのアートセミナーなどに取り組んでいきたいと思っております。アートセミナーは大変好評で、今夏、資料に「ウッドさんキャッチャーとお魚コースター」と書いてありますが、とても

多くの申し込みをいただきまして、当初定員を 80 人と考えていたのですが、120 人に拡大して実施する予定としております。冬休みにも同じようにアートセミナーを開催しますが、小学生が参加したいと思うようなものを企画して、募集をかけていきたい、芸術に触れ合う一助になればと思っております。

次に、同じ「芸術文化推進事業」、こちらは文化会館の事業でございます。これまでもプロの演奏家の方と地元の合唱団や高校の合唱部、吹奏楽部のみなさんが共演する機会を設けまして、とても良い機会となっておりますので、7 年度も自主事業で、まず 6 月に自衛隊の音楽会を行ったのですけれども、中高生の吹奏楽部と自衛隊の音楽隊のみなさんと共演していただきましたし、11 月には千住真理子さんのリサイタルを予定しておりますが、そちらでも地元の合唱団と共演いただく機会を持ちたいと考えております。そのほか、追記しておりますとおり、大ホールでピアノを借りて弾くことができるといったような「HALL DEピアノ」や、バックヤードツアーなど、文化会館を気軽にご利用いただく、そういった取り組みを引き続き行ってまいりたいと考えております。

次は、③学校文化活動事業でございます。この事業は市民芸術祭の展示部門に合わせて、小中学生の作品を募集して展示するという事業ですけれども、7 年度は引き続き市民芸術祭に合わせて作品を展示したいと思っておりますし、吹奏楽部など文化部の方たちの舞台発表の場も設けまして、児童・生徒の文化活動の成長を広く公開する、そういった機会をつくり、芸術文化活動への意欲の向上につなげたいと思っております。

続きまして、ページをめくっていただいて、次は⑤美術普及活動推進事業でございます。こちらについては、萬鉄五郎を顕彰する事業として萬鉄五郎美術館で行っている事業でございます、7 年度も春に児童の写生会や萬鉄五郎祭などを実施いたしました。そのほかにも、引き続き萬鉄五郎を顕彰する事業として、市民の皆さんの芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため、美術活動に取り組む機会を提供していきたいと考えております。

続きまして、⑥萬鉄五郎美術館等整備事業でございます。空調設備の改修工事は昨年の夏までに完了いたしまして、7 年度は全館照明を LED 化すると工事を予定しております。工事期間は 11 月下旬から 2 月上旬と考えておりますので、その期間は美術館は休館いたします。

次は、(2)郷土の先人に対する理解の促進、②先人顕彰推進事業でございます。6 年度は、市民劇場で取り上げた先人、照井亮次郎を先人ギャラリーでも紹介して相乗効果を図りました。この

先人顕彰事業は、共同企画展のテーマの設定や進め方について課題もございますので、今後どのように続けていくのかというところを、現在検討しているところでございますけれども、子どもたちをはじめ市民の皆さんに、郷土の先人を知っていただくということはとても大切なことと考えておりますので、共同企画展という形にとらわれずに様々なアイディアを出していきたいと考えております。

大竹賢治まちづくり課長

はい、それでは、2ページ目の③宮沢賢治普及・啓発事業（イーハトーブ館）のところでございます。令和6年度につきましてはこちらに記載のとおりでございますが、令和7年度でございますけれども先日、6月30日まで「Illustration&poetry ひかるの世界」という展示を開催いたしました。こちら市内の中学生の方の作品展示でありますけれども、コミュニティバス土沢線のラッピングのデザインも描かれたひかるさんという中学生の方の作品でございます。私も（イーハトーブ館に）行ったときに、ちょうどひかるさんがいらっやしまして、多くの方が来館しておられましたけれども、そういった方々と交流しておられたのが印象的でございます。すごく独特の世界観、見ていて楽しくなる絵画の展示でございました。

次に、今やっておりますが「からくり木工&光と影の作品展」ですけれども、実際に動く木工細工ですとか、あとは実際に3Dに見える描き込まれた絵というもので、今展示がおこなわれております。

こういったような企画展等を今後も実施していく予定でございますし、あとは宮沢賢治普及・啓発（後進育成）事業でございますけれども、賢治研究の資料関係、資料の動画の作成ですとか、関連イベントを開催してまいる予定でございます。セミナー等も開催してございまして、3ページ目でございますけれども、夏季セミナー、それから研究イベントといたしまして学生さん向けに「宮沢賢治で卒論・修論を書いてみる？」といったようなこともやる予定としておりますし、冬は賢治さんの世界を描く絵画展でワークショップを実施する予定でございます。

令和7年度の重点でございますけれども、最後にありますように、イーハトーブ館の設置目的であります賢治さんをとおして学術及び文化の発展に寄与する事業について展開をしてまいりたいと考えております。

事務局（梅原生涯学習課長）

次は④企画展示事業というところになります。こちらについては花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館、花巻市博物館での企画展示事業になりまして、まず花巻新渡戸記念館ですけれども、現在特別展「新渡戸氏が見た原風景 多田民雄展」、追記している

部分ですがこちらを開催中でございます。そのほか、広報の充実に努め、広く市民の皆さんに新渡戸家や稲造の魅力を発信すること、小中学校への学校団体見学や、出前教室の開催を働きかけることを7年度の重点としております。

次に、萬鉄五郎記念美術館でございます。7年度は、こちら資料に記載しております4企画展を予定しております。来週26日からは「かいけつゾロリ大冒険展」を開催いたしますし、萬鉄五郎生誕140周年を記念しまして9月20日から「大川美術館の20世紀アートセレクション展」を開催する予定です。

村田花巻市博物館
副館長

はい、それでは4ページをご覧ください。花巻市博物館の事業につきましてご説明をいたします。博物館では収蔵資料を中心に展示を行うテーマ展、それから全国の巡回展や著名な資料など博物館外の資料を展示する特別展というような形で実施予定でございます。

今年度におきましては4つの展覧会、実施済みも含めて計画をしております、1つは終了いたしましたけれどもテーマ展として「酒造りのわざ-南部杜氏の美酒をたどる-」ということで、「伝統的酒造り」が昨年の暮れにユネスコの無形文化遺産に登録をされたということを記念して実施したテーマ展でございました。それから、現在開催中でございますけれども、テーマ展「戦後80年戦争と花巻」ということで、今年戦後80年という節目の年でもございますので、花巻空襲をはじめ花巻と戦争との関わりという中で、満州事変から終戦までという期間を紹介する展示を今行っているところでございます。

特別展といたしましては、滋賀県にある佐川美術館で所蔵しております平山郁夫の作品から、シルクロードを主題にした作品を展示する特別展「佐川美術館コレクション 平山郁夫展」、こちらを9月6日から11月3日まで開催する予定としてございます。それから最後ですが、テーマ展として「次世代へ繋げる花巻の歴史-花巻市史編さんによる調査経過-」ということで、花巻市博物館では現在、花巻市史の編さんに取り組んでおりますけれども、現時点での調査の状況というものを、資料の形で展示をするテーマ展という形で実施することで、今年度4つの展覧会を計画しているという状況でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

では、生涯学習に関連する事業というところになります。文化会館施設改修事業でございます。文化会館は昭和50年に開館いたしまして、今年50年を迎えるとても古い施設でございますけれども、施設の長寿命化を進めるために、緊急度の高い部分から順次改修を進めておまして、令和7年度からは2年をかけて受電変電設備や照明のLED化、皆さんからご要望が多かったトイレの

大竹賢治まちづくり課長

洋式化などの改修工事を行います。とても大きな工事ですので、利用する皆さんにはご不便をおかけしますが、来年4月から10月まで全館休館する予定でございます。

それでは、4ページ①賢治のまちづくり推進事業でございます。当課で行っておりますもの、それから宮沢賢治記念館で行っておりますものがありますけれども、今年度も賢治セミナー等につきましては、このような開催を予定しているところであります。

宮沢賢治賞・イーハトーブ賞の贈呈式につきましては、例年、宮沢賢治の命日の翌日、9月22日に行っておりますので、今年度も実施してまいりたいと考えてございますし、5ページ目になりますけれども、宮沢賢治記念館特別展ということで年4回計画してございまして、今は「とっこべとら子」の特別展を開催中です。

それから次の段でございますけれども、今度の日曜日7月20日、参議院議員選挙の投票日と重なっておりますけれども、宮沢賢治創造芸術公演ということで劇団わらび座の「真昼の星めぐり」と題しまして、ミュージカルを上演予定でございます。全国ツアーで上演する初日公演が花巻市で行われるものでございますので、まだお席は若干あるようでございます。当日券も販売する予定にしております、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、文化会館のほうに午後1時半開場、そして午後2時から公演ということで準備してございます。

次の段、賢治フェスティバルでございますが、こちらも明日から実施予定にしておりますけれども、例年やっております「童話村の森ライトアップ」、7月19日から10月26日まで実施の予定としております。同じく童話村がライトアップの期間中ではありますが、イーハトーブフェスティバルが8月30日と31日。今回もいろいろなゲストの方にお越しいただいて、ステージイベント、トークショー、映画上映等も実施する予定としております。こちらの内容につきましては、7月下旬に詳しく発表させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

賢治アートストリート事業について、新花巻駅から賢治記念館に至るまでの道に10基のオブジェを設置しているわけですが、こちらに一般、それから小中学生、高校生の方からご応募いただいた作品、賢治さんに関する作品をテーマにしたものを入れ替えながら展示をして、賢治のまちづくり推進に努めていきたいです。

また、賢治イベントカレンダーでありますけれども、これからになりますが秋冬号は8月に、そして2026年春夏号につきましては来年3月発行ということで計画してございます。

今日も、非常に天気がいいですけれども、このところ雨が少なかったものですから、実はイギリス海岸が見えはじめてございま

す。いつもですと、水量調整をして9月に出現を目指すということではあるのですが、今年はこの天候で見えはじめてきているというところで、市のホームページにも掲載したところがございますので、ご興味のある方はご覧になっていただければと思います。以上でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

続きまして、最後のページでございます。②企画展示事業です。こちらは、高村光太郎記念館と総合文化財センターについてでございますが、最初に高村光太郎記念館について、7年度企画展としては、資料に記載しているところでございますが、高村光太郎が花巻に疎開した年から80年ということで、企画展「昔なつかし花巻駅」、こちら先週12日から開催しております。ジオラマと一緒に貴重な映像、昭和の初期の頃の花巻駅から仙人峠の辺りまでを撮った映像と一緒に、花巻電鉄や軽便鉄道などの電車（ジオラマ）と一緒に飾っております。

また、資料にはありませんが、7月15日から花巻南高校の家庭クラブの皆さんが、智恵子がデザインしたエプロン、昨年復刻で作成したものを高村光太郎記念館に展示しております。8月4日には生徒の皆さんが来館者に手作りのしおりをプレゼントしていただくという企画も予定しております。

さらに、資料に赤書きで追記しているのですが、特別展「中原綾子への手紙」、これは昨年度高村光太郎が（歌人）中原綾子さんに宛てた直筆の書簡、手紙や葉書などをご遺族からご寄贈いただきましたので、それを展示替えしながら季節ごとに展示しております。とても見応えがございますので、ぜひ皆さんにも見ていただければと思います。高村光太郎記念館は以上です。

上野花巻市総合文
化財センター長

はい、企画展示事業の最後になります。花巻市総合文化財センターの企画展示事業についてご説明いたします。令和7年度の計画でありますけれども、3月にご説明申し上げたとおりでございます。令和7年度におきましても、施設のテーマであります早池峰の自然、文化、歴史、人、そして埋蔵文化財を中心とした企画についてご覧のとおり3つの企画展を計画し、進めております。

前回から特段変わってはございませんが、1つ目の企画展「山岳博物館とベルンドルフ」でございますけれども、旧大迫町とオーストリア共和国ベルンドルフ市との姉妹都市提携60周年を記念いたしまして、開催したものでございます。こちらの企画展につきましては、先週6日までの開催でございます。すでに終了してございますが、期間中234人の方々にご覧いただいております。

2つ目の企画展でございますけれども、「花巻城展—本丸御殿跡の発掘調査成果を中心に—」ということでございますが、来月2日

からの開催予定でございまして、現在準備を進めているところでございます。こちらは、平成30年度から行ってまいりました花巻城本丸御殿跡の発掘調査成果について、企画展にてご紹介申し上げるところでございます。

3つ目の企画展「遺跡のモノがたり―大迫地域の遺跡―」というところでございますけれども、こちらは11月15日からの開催ということで、市内4地域の遺跡に焦点を当てまして紹介する企画でございまして、今年度は大迫地域の遺跡について紹介してまいりますのでございます。簡単ではございますが以上でございます。

堀合副議長

はい。それではスポーツ振興と芸術文化一括して説明をしていただきましたので、分けませんので今までの説明のところでご意見ご質問ありましたら、お願いいたします。千葉委員、どうぞ。

千葉委員

スポーツ振興課のところ、各スポーツ団体、いわゆるスポ少への補助金を交付ということの理解でよろしいでしょうか。

奥山スポーツ振興課長

失礼いたしました、こちらの真ん中あたりにある地域スポーツ支援事業の中身になりますが、スポーツ協会への補助金というところと、それとは別にスポーツ少年団本部への補助金。それから、総合型地域スポーツクラブ活動への補助金というのがこの部分の補助金の内容にはなっております。そのほか、委員会に対する補助金とか、団体の運営というよりも大会とか事業に対する補助という格好を取っております。

千葉委員

わかりました。すみません、突然なぜこんな質問をしたかと言いますと、実は私は個人的な話なのですが、スポーツ少年団の指導者もやっているわけなのです。そこで、最近の子どもたちを見ていると、子どもたちの文化って学校とスポ少とネットゲームですね。私たちが子どもの頃って、子ども会の行事とか地域行事に出ていたのです。それが今、はっきりいってゲームもなくなってきています。競技スポーツやっている子どもたちって、そればかりですよ。やっぱり様々な文化に触れさせたいと思いながら、指導者をやっていて私が地域行事に出ると言ったら「え？」という話になったのです。つまり、指導者側も地域のことということよりも、競技スポーツばかりになってしまったりするわけなのですよ。

ちょっと検討していただきたいと思うのが補助金です。各スポーツ少年団は、独立採算制みたいな会員のお金でやっているわけで、なかなか簡単に指導者は言うことを聞きません。自分たちで頑張って（活動して）いるからです。そうすることによって、地域行事にも子ども会の行事をやるとなったときにも、大会があるからこっち（大会優先）というふうになってしまう。そうすると、子ども会の行事や地域行事に参加しない子どもたちは結構多い。

大竹委員にお聞きしたいのですが、八重畑コミュニティ協議会では、全住民向けのイベントとかはあるのでしょうか。それに小学生は来ていますかね、スポ少に入っている子は来ていますかね。

大竹委員

今、おっしゃったことそのままですね。やっぱり、スポーツクラブがあると、地域の交流には来ません。

千葉委員

ちょっと、考えていただきたいと思いますのは、インセンティブを与えること。どうでしょうか。つまり、地域の行事に出る団体には若干高めに（補助金を）交付するということはどうなのでしょう。

または、交付するときに指導者を全員集めて「子どもたちの健全育成のためには、地域で活動することも大事なのですよ。」ということをお話しながら補助金を渡すとかいうことは、可能なのではないかと思うのですけれども。そうすると、スポーツ振興課の所掌事務からは離れてしまうので、なかなかそういうことも厳しいと思うのですけれども。実際、地域の方々は子どもにも来てほしい事業をやろうと思っても、なかなか子どもたちが来ないという実態があるわけで、（スポ少関係で）学校行事もちょっと休ませてくれというようなときもあります、スポ少の活動を優先して。

ですので、多分難しいとは思うのですけれども、インセンティブで差を付けるということは厳しいと思うのですが、やっぱりスポ少の実際に一生懸命やっているお父さん、お母さん、指導者の方々は正直言って言葉は悪いですけれども、地域をないがしろにする部分があります。そういったところもちょっと考えていきながら、やっぱり地域の子どもたちということを考えていければと思いますし、私自体石鳥谷に住んでいますが、石鳥谷のお祭りのときには、子どもたちがいっぱい参加している。これはちょっとまだ聞いていないのですけれども、どういう仕組みで子どもたちが参加しているのかというのは、すごく気になっているところです。そういったところを、担当している課を越えてのまちづくり、地域づくりの考えというのができるのかというのは私自身答えが出ません。難しいとは思うのですけれども、検討していただければと思います。以上です。

奥山スポーツ振興
課長

すみません、現状ということで情報提供くらいの話しかできないかもしれませんが、スポーツ少年団とか、あるいは地域の様々なクラブ活動、こちらもなかなか人が少なくなって取り合いと言うと語弊はありますが、一生懸命子どもたちの確保に苦心していらっしゃるというような状況のなかで、団の運営そのものができるかできないかという部分もありますので、そういった面では、先ほど補助としては直接（スポ少の）団体に対するものはないということでお話していますが、市のスポーツ協会を経由す

る格好で、運営の補助なんかをしているようなケースもあります。

ですので、このこと自体は答えにはならないのですが、団体の運営を維持していただくことと、子どもをある程度確保すること、それから地域の中でどのように人を確保していくのか、それぞれに様々な工夫をしてやっていращやるかと思いますので、今後、スポーツ協会ともあわせてできることはないかということで相談をしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局（菅野生涯
学習部長）

付け足しますけれども、やはりおっしゃったように、答えがなかなか出ないというのが現実で、子どもの数自体減っている一方で、やっぱりスポ少等の試合はすごく多いですね。町内会の役員をこの間からやっていますけれども、私のところでも祭りと盆踊り、敬老会はなんとか地区の小学生に集まって歌を歌ってくれだとか、活動内容をしぼってやっていたりして、まだうちの地区は人数が多いので成り立っている状況ですけれども、もうちょっと小さい地区になると、子どもの数自体少なくてということもあるので。スポーツ自体も、大きな単位でやらないとチームができないということも出てきたりして、大変難しいと思います。そのなかで、最初におっしゃったように補助金で差をつけるとかいうことは難しい。市のほうでも1つ1つの団体に補助しているわけではなくて、本部にあって必要な事業に対する補助金ということで行っているんで、差をつけることはなかなか難しいと思います。ただ、おっしゃる意味は大変理解しておりますし、スポーツだけではないものにも子どもたちに目を向けてもらいたいということも大切だと考えております。ありがとうございます。

堀合副議長
佐藤委員

よろしいでしょうか。ほかにありましたら、はいどうぞ。

スポーツ協会の佐藤です。今の話もそのとおりですのでなかなか難しいと思っておりますが、私も高等学校でずっとスポーツを指導してきて、やっぱり先生自体も地域のことをやっているのかというと、アンケートを取ればほとんどやっていないというようなことでございますので、本来であれば今言ったようなものは望ましい方向だと思うのですが、なかなか難しいと思っております。

今回の第3期花巻市教育振興基本計画が令和7年まで、それから教育振興基本計画が新しく策定されるようなことになっていると思います。中学校間でのスポーツが地域間になる。要するに、地域へ還元ということになるにおいて、この計画にその項目が一切入っていないということでございますので、教育委員会と擦り合わせをしながら。結局、生涯学習課のほうの担当に入ってくるということだと思いますので、そのあたり教育委員会と擦り合わ

せをしながら、(生涯学習の中に) 入るような計画を作成していただきたいと思っています。意見です。

菊池豊議長

関連して、中学校の部活動が例えば地域スポーツへの(移行)というような動きがあるのですが、今花巻ではどのくらい進んでいるのでしょうか。

奥山スポーツ振興
課長

はい、スポーツのほうからということで回答させていただきたいと思います。

部活動等の在り方検討会議というものを設置しておりまして、教育委員会学校教育課が中心になって進めているところですが、「6月1日時点の状況」ということで会議があったときのお話では、部活動の移行状況としては、地域連携型の学校部活動が39、それから地域クラブ活動18で合計57ということで、これがどれ位の数かということ全体の半数程度というお話でした。

ただ、文化部に関しては生涯学習団体等と連携して、今受け皿をつくっている段階だということと、学校別で考えた場合ですとモデル校になっているところは概ね地域移行が完了しているということをお聞きいたしましたし、今後もまだ現状の課題について検討しながら進めている段階と考えております。

事務局(菅野生涯
学習部長)

まだまだ学校に頼っている状態でスポーツ振興課のほうでなんとか受けようという状況にはなっているわけですが、スポーツ振興計画が来年度から新しくなるということで、その中でもしっかりスポーツの中にクラブの地域移行ということを位置づけてい考えているところです。ただ、まだ移行してきたというのも一部の地域のことで、指導者がいないということもあって難しい部分もありますので、教育委員会と一緒に考えていきたいと思っています。

堀合副議長

よろしいでしょうか。今日は、令和8年度へ向けたご意見等も伺うとなっておりますが、ございませんでしょうか。小国委員。

小国委員

はい、小国と申します。意見にしかならないかと思いますが、よく使うときにエレベーターがですね、入口から隠れているので、あれは見えるところに設置できないのかという希望です。それとエスカレーターがあったらいいのではないかという意見です。

それから、もう1つは賢治記念館と童話村、たいていの方が新花巻駅を利用して徒歩で移動するわけですが、できれば見ていていわゆる歩道、普通の歩道なのですね。草が生えていたりとか、ちょっと賢治の世界からは離れているかなという。どうせなら賢治の世界、テーマパーク的に新幹線降りてから童話村までの動線に花巻っぽい雰囲気をつくってほしいかという意見でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

たしかに文化会館のエレベーターは奥にございますので、表示などをわかりやすく工夫していきたいと思います。エレベーターも古いので、優先度を考えながらいつ改修するかというところですが、エレベーターを表のほうに出すとなると構造上のこともございますので、（移動）できるかどうかは現時点ではわかりかねます。エスカレーターもあれば便利だとは思いますが、今後の課題だと思います。

堀合副議長
菊池豊議長

よろしいでしょうか。

関連して、文化会館の改修をいろいろやっていますが、結局大ホールですよね。中ホールも何とかできないですか、改善ということで。中ホールがあれば、だいたい300人位の規模の（ホール）があれば、非常に利用しやすいのですね。大ホールの前のほうだけというのはちょっと微妙な状態ですので、やっぱり中ホールをなんとか解消できないか。ちょっと使いづらいですね。昔の結婚披露宴の会場を想定してつくったという話も聞いているのですが、もう少しですね他の市町村と比べると使い勝手が悪い。そこもあわせて、なんとか検討してもらいたいと思います。

事務局（梅原生涯
学習課長）

文化会館についてたくさんご意見があるのは承知しておりますが、予算に限りがありますので、優先度をつけて順番にということになります。最初に文化会館大ホールの舞台の吊り物や照明、音響装置を改修しまして、今回開館以来1回も更新していなかった電気設備を改修いたします。また、トイレも和式が多かったものを全て洋式に改修します。中ホールや楽屋についてもご意見を多くいただいておりますが、それらについては優先度を考えながら検討いたします。

大竹賢治まちづく
り課長

先ほど小国委員から、宮沢賢治記念館までの（歩道に）、賢治さんのまちの雰囲気が欲しいということでご意見をいただいております。おっしゃるとおりだと思います。ただ、道路という機能観点上、なかなか難しいところもありますけれども、十分ではないかもしれませんが、新花巻駅から賢治記念館までの道で、作品の募集をしておりますが、作品を展示するオブジェがございます。オブジェの1つ1つが賢治さんの童話にちなんで、例えば「やまなし」ですとか「銀河鉄道の夜」ですとかそういったもののオブジェを10か所ほど用意してございます。市としてそういったことはやっているのですが、なかなかその雰囲気を賢治さんの世界にというのは、道路で難しい部分もありますのでこういった点はご了解いただければと思います。

なお、明日から釜石道と国道456号が交差するトンネルも童話村のライトアップの期間に合わせてライトアップします。ライトアップは土日祝の日に開催しますが、その日についてはトンネ

ルについてもライトアップをして、そこからの雰囲気づくりをするというようなことには取り組んでおりましたので、ご理解をいただければというふうに思います。以上です。

菊池豊議長

今、賢治まちづくり課長が話しましたが、もう1つですね。事業として「全国高校生童話大賞」が終了してしまっただ。これは23回位続いてですね、全国の児童文学のコンクールでは、まず古いほうにあたる。そして、賢治について花巻から発信するという、そういった意味では非常に意義のあるコンクールだったのですが、これを市が全面的にバックアップしてやるのが可能なだろうと思うのですが。富士大学のほうでは、もう終了させたいと申し出たと思うのですが、市独自でやっていくという考え方はないのかどうか。ちょっと引かかるのは、審査員をどうするのかというところだと思います。これもいろいろ考えれば、やれるところがたくさんあると思いますので、ぜひ検討していただければ。賢治について、全国に発信する非常に有効な手段として考えていただければありがたいと思います。

事務局（菅野生涯学習部長）

ぜひ、富士大学さんのほうにいい事業でしたので続けてもらいたかったのですけれども、やはりいろいろ考えていただいたうえで、これまでのとおりにはできないというお話がありましたので。市としても、急には継続してできるということにはならなかったもので、一旦休止という形とは言っていないのですけれども、いい事業ではあるという認識はしておりますので、なんとかできればとは思っておりますが、これまでやってきた体制が一旦なくなってしまったということで、私たちも考えさせていただきたいといった状況でございます。惜しい事業であるというのは、そのとおりでございます。

堀合副議長

それでは、たくさんご意見・ご質問をいただきました。まだまだ議題がございますので、(2)新花巻図書館整備についてに移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。では、お願いいたします。

事務局（梅原生涯学習課長兼新花巻図書館計画室長）

それでは、(2)に移らせていただきます。資料は「新花巻図書館整備について」です。よろしくお願いいたします。

前回の3月の社会教育委員会では新花巻図書館整備基本計画の試案について、内容をご説明いたしました。今日はそれ以降の状況についてご説明したいと思います。

まず、配布資料の2ページ目でございます。「これまでの状況」をご覧くださいと思います。3月21日の教育委員会協議会において、試案を基本計画（案）とし、市民参画手続きを進めることについて承認いただき、花巻市市民参画・協働推進委員会で承認を受けました「パブリックコメント」、「市民説明会」、「図書館協議会での審議」の3つの手法により4月から市民参画の手続き

を行いました。パブリックコメントでは86人の方から133件のご意見等をいただきましたし、4地域で行いました市民説明会には延べ118人の方が参加されました。また、図書館協議会は5月13日に開催いたしまして、ご意見等をいただいております。これらの市民参画でいただいた意見で可能な部分を反映した基本計画案について、5月19日の教育委員会議定例会において、原案のとおり可決されました。この新花巻図書館整備基本計画に基づきまして、市議会6月定例会で、6月10日でございますが、新図書館整備に関する設計業務の実施等に係る補正予算案を提出しまして、原案のとおり承認いただきましたので、現在、設計業務などに関する事務を進めているところでございます。

補正予算の詳細については、次のページをご覧くださいと思います。まず、設計業者選定のための公募プロポーザル実施に伴い、選定委員の方々にお支払いする謝礼等で35万9,000円、設計業務の基礎データとするため現地の測量を行う費用として1,507万7,000円、令和8年度から国の補助金、「都市構造再編集中支援事業補助金」というものですが、そちらを活用するために今年度中に都市再生整備計画を策定いたしますので、その業務委託費として1,017万5,000円、こちらを合わせて総額で2,561万1,000円を補正予算額として議決いただいております。

また、補正予算に加えまして、債務負担行為の設定もしております。債務負担行為とは自治体が未来の予算で支払いをする約束をして、大きな事業や長期的な契約を進める仕組みのことでございますが、新図書館の場合は設計業務を令和7年度に契約し、8年度に支払いをする事を考えております。そこで、2か年にわたる債務負担行為として、設定額を基本設計と実施設計の業務委託費を合わせて4億800万円としており、こちらも議決いただきました。

この設計業務の発注方法ですけれども、花巻市では様々な施設等の設計を業務委託により実施しておりますが、これまで、そのすべてにおいて基本設計を終えてから、改めて業者を入札により選定し実施設計を行うという2段階の手法をとっております。一方で、図書館など建物の設計業務における他市の事例を見ますと、工期の短縮ができるなどのメリットがございますことから、基本設計と実施設計を分けずに、1つの契約として一括発注する自治体が多く、花巻市としても可能な限り早期に図書館整備を進めたいと考えておりますので、設計業者を選定するにあたっては、基本設計と実施設計を1つの契約として発注したいと考えております。

今回の事業は、高度な建築設計技術に加え、環境などの制度や

広場などいろいろな部分の合意形成といった、幅広い技術力が必要になりますので、一括発注した場合、基本設計と実施設計を継続して行うことから、より優れた業者の参加が期待できることや、1つの契約ですと設計全体に業者が関与することになりますので、分離発注の場合と比較して、業務に対する責任が明確化されるで設計成果としての質の向上も期待しております。

また、この業務を市とともに進める最も適した設計業者を選考するために、価格によって業者を選定する入札ではなく、広く設計提案を募り、提案業者の技術を評価して業者を選定する「公募型プロポーザル方式」とします。

この設計業務ですけれども、相当な業務量が見込まれておりますので、市内業者だけでなく、市外の業者にもプロポーザルへの参加を認めたいと考えておりますが、市内業者が参画できる可能性を高めるために、市内業者を加えた共同企業体(JV)を結成する場合などには、プロポーザルの審査をするときに評価点を加えることを考えております。

プロポーザルの実施要領等については、先週、第1回目のプロポーザル選定委員会を開催したのですけれども、現在公告に向け調整しているところでございます。プロポーザル選定委員は、建築の専門家、図書館学の専門家など6人の方をお願いしております。より良い設計者を選定するために、建築や図書館運営などの分野で活躍している実績のある専門家の方々に委員を委嘱しております。それぞれの委員さん方には、専門的な見地から総合的に審査いただきたいと考えております。

最後に、次の4ページ目でございます。

こちらには7月時点での開館までの大まかなスケジュールをお示ししております。令和8年度末までに設計を終えまして、令和9年度からは用地を取得した上で建物の工事を開始し、令和12年度のできるだけ早い時期の開館を目指しております。駆け足となりましたが、説明は以上でございます。

堀合副議長

ただ今、これまでの状況とそれから補正予算がついたということで、今後こういう流れで進めるというお話がありました。このことについて、特にご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

佐藤委員

わからないかもしれませんが、総額いくら位を予定しているのか。他市では42億円で反対の声が挙がったようですけれども。ある程度わかっていればお示しいただければと思います。

事務局（梅原生涯
学習課長兼新花巻
図書館計画室長）

概算の事業費については、これまでも市民会議などいろいろな場でお話ししていますが、建物の建築費など総事業費約39億9,000万円と考えております。ただ、物価や人件費も高くなっておりますので、今後の状況等に応じてどのようになるかということ

堀合副議長

ろはありますが、現時点ではこれで進めたいと考えております。

よろしいでしょうか。ほかにございますか。図書館という特殊性でそういった専門家を入れて、これからプロポーザル方式で業者選定を行うということのようです。よろしいでしょうか、はい。では、次に進めさせていただきます。議題の（３）に入ります。

（３）次期花巻市基本計画の策定について、事務局お願いいたします。

及川教育企画課長

はい、教育企画課の及川と申します。それでは、お手元にお配りしております資料 No. 3 に基づきまして、ご説明をさせていただきます。

まず、「１ 花巻市教育振興基本計画策定の趣旨」でございますが、これにつきましては教育基本法第 17 条第 2 項の規定によりまして、国の教育基本計画を参酌し、その地域の実情に応じ、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるといった、努力義務が課せられているところであります。本市におきましては、長期的な視点に立った総合的な市政運営の基本となります第 2 次まちづくり総合計画長期ビジョンにおきまして、6 つの分野の 1 つでございます「子育て・人づくり分野」におきまして、教育に関しての記載がございます。この「子育て・人づくり分野」で目指す姿といたしましては、「子どもたちの笑顔 明るい未来をつくるまち」を掲げておりまして、花巻市教育振興基本計画は、この総合計画の「子育て・人づくり分野」に掲げております施策・政策の実現に向けた進むべき方向と、これらを実現するための基本的な施策と目標を定めまして、目標達成のために必要な事業を明らかにするということで策定するものでございます。

なお、第 2 次花巻市まちづくり総合計画の「子育て・人づくり分野」で掲げる施策につきましては、「１ 子育て環境の充実」「２ 学校教育の充実」「３ 生涯学習の推進」「４ スポーツの振興」「５ 芸術文化の振興」「６ 文化財の保護と活用」の 6 つとなっております。続きまして「２ 計画期間等」でございますが、現行の花巻市教育振興基本計画の計画期間は令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間となっております。今年度が計画期間の最終年度でありますことから、計画期間が令和 8 年度から令和 12 年度までの次期計画の策定に向けた作業をすでに行っているところでございます。国と県の教育振興基本計画、花巻市まちづくり総合計画、花巻市教育振興基本計画の計画期間については表のとおりです。

また、「３ 社会教育委員会議の役割」でございますが、次期教育振興基本計画の策定に当たりまして、計画に取り入れていく項目や内容につきましてご意見やご提案を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、資料2枚目のまちづくり総合計画、教育振興基本計画、教育大綱の関連図でございます。地方公共団体は、具体的には教育委員会でございますが、教育委員会が策定いたします教育振興基本計画につきましては、まちづくり総合計画の「子育て・人づくり分野」と整合をとりながら、国の教育振興基本計画を参酌しつつ策定のほうをいたしまして、教育大綱、地方行政の組織および運営に関する法律の第1条の3に規定いたします首長が市長、その地域の実情に応じ当該地方公共団体の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の対応おります花巻市教育大綱とは、お互いに尊重し合う関係であることを示させていただいております。

次に、3枚目の第4期教育振興基本計画策定スケジュールでございますが、社会教育委員の皆様におかれましては本日の社会教育委員会議のほか、年明けの2月中旬の開催予定になります社会教育委員会議にもご参集いただきまして、計画策定の終盤における協議を行っていただく予定となっておりますが、この計画策定の進捗状況に応じまして、そのほかの機会にもご協議をお願いしたいことが出てくるかもしれませんので、その際にはご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

それでは、簡単ではございますが、第4期花巻市教育振興基本計画についてのご説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

堀合副議長

おおまかなところの説明をしていただきましたが、今の説明についてご質問・ご意見等ありましたらお願いいたします。

菊池豊議長

今の資料3に社会教育委員会議の役割が出ているのですが、計画に入れていく項目や内容等について、ご意見やご提案をいただきたいということですが、どのような形で行うのでしょうか。

及川教育企画課長

まずは、案を作成したいと考えておりました。案を基に、案に足りないのではないかとと思われるような項目でありますとか、内容等について、ご意見・ご提案を頂戴したいと考えております。

菊池豊議長

このような会議を設定してもらえということなのか。以前のまちづくり総合計画だと、案が郵送で送られてきた。そういった形での意見や提案の受け方なのか。

及川教育企画課長

できれば、お集まりいただいて直接お伺いできればというものなのですが、なかなか皆さんお忙しくてスケジュールの調整もおそらく難しいのではないかと考えております。そういう方法がある一方で、先ほど議長のお話になった書類を送らせていただいて、ご意見を頂戴するという方法も同時に考えております。今のところ、どのような形でご意見・ご提案を頂戴するかについてはまだちょっと詰められてないところがありますので、これから、

内部で検討して生涯学習部とも連携をとりながら決めていきたいと考えております。

堀合副議長

詳しい資料が後で送られるということのようです。よろしいでしょうか、ほかに何か。

それでは、(3)についてはこれで終了したいと思います。

(4)のその他に移ります。事務局からはよろしいでしょうか。ほかに何か。皆さんからは何かございますか。ありがとうございます。本日の議題については、終了とさせていただきます。それでは、事務局にお返しいたします。

4 その他

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

菊池議長、それから堀合副議長議事進行大変ありがとうございます。

続きましては、4その他ということで、こちらからご説明をさせていただきます。1つは皆さんにお配りをしております『資料の提供について』でございます。A5の小さな用紙になりますが、資料の提供方法についてのお願いでございます。県社会教育連絡協議会などから、お知らせや事務文書を委員の皆様にお送りする際、通常は郵送でお送りしておりますが、電子メールでの受け取りをご希望される場合は、こちらの用紙にお名前とメールアドレスをご記入いただきまして、事務局までお願いできればと思います。郵送費の削減にご協力いただければということでございます。なお、社会教育委員会議の開催通知等の資料につきましては、従来どおり郵送でお送りしたいと思います。

それから、もう1点でございます。前回の会議でも少しご紹介をしましたが、1番最後に付しております資料ですけれども、『第67回全国社会教育研究大会岩手大会の開催について（ご案内）』という通知を添付しております。

昨年度、花巻市で公民館大会と社会教育委員研究会というものの県大会を行いました。今年度はその大会の全国大会という形で、10月末に盛岡市を会場に開催されます。通知と一緒に、開催要項を添付してございますが、大会スローガンとして「学びと絆で未来を拓く！社会教育のイーハトーブをめざして in いわて」となっております。10月末となりますが、10月30日には全体会の中で水沢にあります国立天文台の本間希樹所長によります「岩手発ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」と題して講演が行われます。翌31日には、5つの分科会が開催されます。詳細は申し上げますが、詳しくは開催要項をご確認いただければと思います。委員の皆様におかれましては、参加を希望する方の参加費については、事務局で予算をいくらか確保してございますのでぜひ申し込みいただいて、大会にご参加いただければ思っております。

申込用紙も添付してございますので、そちらのほうでお願いできればと思います。事務局からは以上でございます。そのほか、何か皆様からございましたらお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。大変ありがとうございます。

それでは、続きまして閉会ということになりますが、閉会にあたりまして、菅野生涯学習部長よりごあいさつを一言お礼のごあいさつを申し上げます。

5 閉 会

事務局（菅野生涯
学習部長）

長い時間、いろいろご意見をいただきまして大変ありがとうございました。できるだけ今日いただいたご意見を事業のほうに活かしながら、より良い社会教育事業を進めてまいりたいと思いますので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。今日は、どうもありがとうございました。

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして令和7年度第1回花巻市社会教育委員会議を終了いたします。本日はご出席いただき、大変ありがとうございました。